

## 事前評価個表

整理番号	12
------	----

地域（地区）名	<sup>ふじ</sup> 富士	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	静岡県	対象市町村	<sup>ふじ</sup> 富士市ほか 8 市町
事業実施期間	R3 年度～R7 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は、県の東部に位置し、富士市他 6 市 3 町で構成され、富士山（3,776m）を頂点に、愛鷹山、箱根山等の新旧火山の山麓が広がり、地形は緩やかで、富士川のほか、黄瀬川が狩野川に合流して駿河湾に注いでる。</p> <p>本地域の森林面積は 79 千 ha（森林率 57%）を占め、対象民有林は 55 千 ha（森林全体の 70%）、うち人工林は 40 千 ha（人工林率 72%）であり、富士山、箱根山、愛鷹山の比較的緩やかな山麓に、戦後植栽されたヒノキを主体とした人工林が広がっている。</p> <p>人工林の齢級別内訳は、Ⅰ～Ⅶ齢級が 5%、Ⅷ～ⅩⅡ齢級が 29%、ⅩⅢ齢級以上が 61%となっており、高齢級の人工林を皆伐し、再造林を行うなど森林資源の循環を図る必要がある。</p> <p>また近年、利用間伐等の推進により森林の整備が進んだ一方で、施業の集約化が進まない地域の森林では、水源涵養機能等の森林の有する多面的機能の低下が危惧される。</p> <p>そのため、森林経営計画の策定促進と併せて本事業を実施することで、適正な森林整備や路網整備、森林資源の有効活用を進め、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させる。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,060ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：林道開設 延長 2,000m</p> <p>総事業費：2,372,843 千円（税抜き 2,157,130 千円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C = 5.21</math></p> <p>（総便益（B）=11,851,526 千円、総費用（C）=2,273,378 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する多面的機能の維持・増進を図るためには、本事業により計画的に施業を集約し、森林整備の推進を図る必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：適切な森林整備により水源涵養等の公益的機能が持続的に発揮されるとともに、林道開設により将来の優良材の安定生産が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：静岡県

地域(地区)名：富士

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,249,415	
	流域貯水便益	830,256	
	水質浄化便益	2,054,049	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,682,364	
環境保全便益	炭素固定便益	3,564,707	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	119,358	
	木材利用増進便益	39,431	
	木材生産確保・増進便益	1,032,965	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	278,981	
総 便 益 (B)		11,851,526	
総 費 用 (C)		2,273,378	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,851,526}{2,273,378} = 5.21$		

# 森林環境保全整備事業 富土地域（静岡県）概要図



凡例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	

